

第160回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成21年7月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,710	-2.15	-0.09	4,011	-0.81	-0.07
東部地区	14,448	1.41	0.15	5,671	1.72	0.01
西部地区	10,819	-0.39	-0.06	4,033	0.69	0.14
駅南地区	6,388	-0.38	-0.29	2,691	0.93	-0.03
半田地区	3,612	1.28	-0.55	1,350	2.66	-0.73
横山地区	5,700	0.74	0.45	1,866	1.41	0.32
茨目・田尻地区	6,961	1.00	0.18	2,329	2.05	0.30
荒浜地区	5,132	-1.61	0.19	2,000	-1.18	0.05
その他地区	21,118	-1.15	-0.13	7,190	0.20	0.00
西山町地区	6,320	-1.92	-0.03	2,131	-0.69	-0.18
高柳町地区	1,968	-2.52	0.05	844	-0.23	0.95
柏崎市計	92,176	-0.46	-0.01	34,116	0.58	0.03
刈羽村	4,947	-0.54	0.06	1,546	0.32	-0.06
小国地区（長岡市）	6,474	-1.35	0.00	2,153	-0.41	-0.04
出雲崎町	5,244	-0.92	-0.15	1,817	-0.49	-0.05
合計	108,841	-0.54	-0.01	39,632	0.46	0.02

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市で429人、0.46％、刈羽村で27人、0.54％、小国地区（長岡市）で89人、1.35％、出雲崎町で49人、0.92％とそれぞれ減少し、全体では594人、0.54％の減少となった。

また、前月比においても、刈羽村で3人、0.06％の増加となったものの、柏崎市で13人、0.01％、出雲崎町で8人、0.15％と減少したことから、全体では18人、0.01％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で9世帯、0.41％、出雲崎町で9世帯、0.49％と減少したが、柏崎市で198世帯、0.58％、刈羽村で5世帯、0.32％と増加した結果、全体では185世帯、0.46％の増加となった。

また、前月比でも、刈羽村で1世帯、0.06％、小国地区で1世帯、0.04％、出雲崎町で1世帯、0.05％と減少し、柏崎市で11世帯、0.03％と増加した結果、全体では8世帯、0.02％の増加となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	681		-34.39		0.14	
月間有効求職者	2,134		111.91		-1.61	
月間有効求人倍率	0.32	0.34	-0.71*	-0.38*	0.01*	0.02*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が681人と前年同月比で357人、34.39％の大幅な減少となったものの、前月比では1人、0.14％と僅かに増加している。

一方、月間有効求職者数は2,134人と前年同月比で1,127人、111.91％の大幅な増加となったが、前月比では35人、1.61％と減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.32倍と前年同月比で0.71ポイントと大幅に下回り、前月比では0.01ポイント上回ったが、県平均0.34倍に対しては0.02ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が246人と前年同月比で119人、32.60％の大幅な減少となったが、月間新規求職者数は340人と前年同月比で73人、27.34％と増加した結果、月間新規求人倍率は0.72倍となり、前年同月の1.37倍に対して0.65ポイントの大幅な悪化となっている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成21年7月の年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	42	-46	10	179	-244
共 同 住 宅	1	-1	1	4	2
事 務 所	1	-1	1	4	-1
作 業 所 ・ 工 場	0	-1	0	1	-8
営 業 建 物	2	-1	-4	15	-7
公 共 建 物	1	1	0	2	1
そ の 他	8	0	-7	48	-10
合 計	55	-49	1	253	-267

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が55件と前年同月比で49件の大幅な減少となったものの、前月比では1件増加している。工種別における主な増減は、一般住宅（併用）が前年同月比で46件と大幅に減少したが、前月比では10件の増加となった。

なお、工種全体の申請内容は、新築が27件、増築が22件、改築が6件となっている。また、一般住宅（併用）42件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が30件（うち新築13件、増築15件、改築2件）、市外施工業者が12件（うち新築7件、増築2件、改築3件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、千kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,337	-1.62	0.02	15,666	0.58	-0.70
電 力	11,280	-2.91	-0.17	39,732	-19.91	9.14

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で1,077口、1.62%の減少となったものの、前月比では14口、0.02%と増加している。一方、電力は前年同月比で339口、2.91%の減少、前月比でも20口、0.17%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で91千kwh、0.58%の増加となったものの、前月比では111千kwh、0.70%と減少している。また、電力においては、前年同月比で9,883千kwh、19.91%の大幅な減少となったが、前月比では3,330千kwh、9.14%の増加となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	843,321	-3.23	-22.79	713,856	0.00	-1.89
営 業 用	224,318	-7.46	14.21	126,222	-5.71	3.58
工 場 用	637,543	-21.13	13.75	154,130	2.27	0.80
官 公 学 校 用	403,746	-4.45	54.58	104,687	-2.00	15.01
そ の 他				118	-41.29	-47.78
合 計	2,108,928	-10.06	-0.06	1,099,013	-0.57	0.49

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で235,895m³、10.06%の減少、前月比でも1,385m³、0.06%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではすべての用途で減少、前月比では家庭用で大幅に減少、官公学校用で大幅に増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で6,372m³、0.57%の減少、前月比では5,396m³、0.49%の増加となった。用途別内訳を見ると、前年同月比では家庭用、工場用を除くすべての用途で減少、前月比では家庭用、その他を除くすべての用途で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	94,512	-5.00	13.49	100,380	-3.71	13.78
西 山	51,933	-19.56	12.96	48,672	-21.15	15.15
米 山	27,541	-12.16	25.37	25,929	-11.58	24.02
合 計	173,986	-10.96	15.05	174,981	-10.40	15.58

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で21,433台、10.96%の減少となったものの、前月比では22,771台、15.05%と大幅に増加している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で20,329台、10.40%の減少、前月比では23,591台、15.58%の大幅な増加となっている。

インター別で見ると、前年同月比ではすべてのインターにおいて入口・出口ともに減少しており、一方、前月比ではすべてのインターで入口・出口ともに大幅に増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	358,643	1.35	-0.96	146,370	2.10	-0.52
平 残	359,595	1.70	-0.69	144,558	2.43	-0.09

預金は、末残が前年同月比で4,794百万円、1.35%の増加となったものの、前月比では3,485百万円、0.96%の減少となっている。また、平残も前年同月比で6,030百万円、1.70%の増加、前月比では2,522百万円、0.69%と減少している。

一方、貸出金においても、末残が前年同月比で3,016百万円、2.10%の増加となったが、前月比では776百万円、0.52%と減少している。また、平残も前年同月比で3,436百万円、2.43%の増加、前月比では142百万円、0.09%の減少となっている。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	36,965	582.13	-3.83
交 換 金 額	21,537	376.90	-21.93
不 渡 り 手 形 枚 数	78	0.00	-4.87
不 渡 り 手 形 金 額	73	0.00	24.17

(資料出所：長岡手形交換所)

柏崎手形交換所は、平成21年3月31日に廃止となり、新たに平成21年4月1日から長岡手形交換所に統合されたため、平成21年4月分から長岡手形交換所による計数となっています。なお、前年同月比については、平成22年3月分までは柏崎手形交換所との比較になります。

長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で31,546枚、582.13%の増加、前月比では1,475枚、3.83%の減少となった。また、交換金額は、前年同月比で17,021百万円、376.90%の増加、前月比では6,050百万円、21.93%の減少となっている。なお、不渡手形は78枚、73百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産6件（前年同月5件、前月10件）、負債総額42億円（同13億円、同26億円）、1件当たりの負債額7億円（同2億円、同2億円）となっている。地区別では、下越地区で2件（新潟市2件）、中越地区で3件（三条市1件、小千谷市1件、南魚沼市1件）、上越地区1件（柏崎市1件）発生している。業種別は製造業3件、販売業1件、サービス業2件となり、倒産原因については、販売不振5件、売掛金回収難1件となっている。

当月の企業倒産は6件、負債総額で42億円と前年同月比では件数で1件の増加、負債総額でも29億円の増加となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は3件発生し、月別の負債総額では今年最多となった。

県内経済は、底入れの動きがみられるものの、引き続き悪化している。企業収益、景況感は悪化しており、雇用面は引き続き厳しい状況のなか、個人消費も弱い動きとなっているなど、今後の先行きについては、倒産件数がさらに増加していく状況が懸念される。